

アジア・アジアパラ競技大会に関する懇談会 委員コメント

奥野座長

アジア・アジアパラ競技大会に期待することは、「スポーツへの貢献」と「地域社会への貢献」である。

愛知・名古屋の強固な社会・経済と特色ある文化を基盤に、アジア・アジアパラ競技大会によって、「アジアの人の繋がり」が強化され、「交流連携のダイナミズム」が実感される安定感ある愛知・名古屋が構築されることを期待している。

鮎京委員

“アジアは一つ”ではなく、多様な世界から成り立っている。今回の大会が、アジア諸国をめぐる政治的経済的社会的文化的なさまざまな問題を考える機会となるように期待している。

高橋委員

愛知・名古屋大会に期待される役割を達成にするために、大会を契機に地域が目指す新たな理念「アジアの 子どもの 未来の ために (A better future for Asia, a better world for Children)」を提案させていただきました。

大会契機、ホストする愛知・名古屋のみなさんと、アジアからのゲストの方々と一緒に社会課題を解決し、希望ある未来を切り開いてくださることを祈念しております。

谷本委員

「ハード面をソフト面でカバー」魅力が詰まった、ここ愛知・名古屋だからこそ実現できる大会になることを信じています。

一人でも多くの方の力を集結し大会のゴールを目指す、まさにチーム戦。

この経験が大会後のレガシーとして愛知・名古屋の地域づくりの結束と活力につながっていくことを願っています。

藤田委員

大会は社会を作るための手段であると捉え、そのための施策は大会後に予算が縮小しても継続することを想定して展開してほしい。

また、障害がある人もない人も一緒に参加できるイベントなど、共生社会を作るための象徴的なものやっけていくことも考えていただきたい。

来田委員

大会では、競い合うアスリートを通して、人間の努力の価値や可能性、挫折や失敗の後に再び歩き出す姿が描き出されます。そこには、目の前の単なる結果としての勝敗を超える価値や感動があります。そのようなアスリートの姿に伝えるべく、大会という競い合いの舞台の準備が、気候変動対策、ジェンダー平等など多様な人々の人権の尊重、紛争のない平和な社会を作る「アジア社会の挑戦の縮図」になることを強く意識して進められることを願います。